

外国語科学習指導案

科目名	コミュニケーション英語Ⅱ		
実施日	令和2年10月23日（金）	実施時間	11:25～12:15（4校時）
場所	AL 教室	指導者	○○ ○○
対象生徒	高校2年生（16名）	使用教科書	Revised POLESTAR English Communication Ⅱ(数研出版)

外国語科 目 標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらをつなげた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどの確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1)英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を4技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。
- (2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や聞き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3)英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

具体的な言語活動

聞くこと	読むこと	話すこと	書くこと
<p>・「英語落語」について、対話やスピーチ、または実際の演目などから必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。</p> <p>*「必要に応じて、話される速さが調整されたり、別の語句での言い換えを聞いたりしながら」活動を進めるものとします。</p>	<p>・「英語落語」についての説明文から必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。</p> <p>*「必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら」活動を進めるものとします。</p>	<p>・「英語落語」について、必要に応じて、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が示される状況で、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合う活動。 (やりとり)</p> <p>・「英語落語」について、必要に応じて、使用する語句や文、発話例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (発表)</p>	<p>・「英語落語」について、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。</p> <p>・「英語落語」についての説明を聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。</p> <p>*「必要に応じて、使用する語句や文、文章例が示されたり、準備のための一定の時間が確保されたりする状況で」活動を進めるものとします。</p>

単元名		Lesson 7 Rakugo in English	
単元の目標		<p>(1)英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を4技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。(知識・技能)</p> <p>(2) 英語落語についての内容理解を深めながら、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。さらに、英語を使うことで広がる自分の将来の可能性について意見を書いたり話したりすることで伝えるようにする。(思考・判断・表現)</p> <p>(3)桂かい枝さんの活動や、英語落語の特徴への理解を通して、海外における日本文化について考えを深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	
具体的な評価基準			
知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 英語の音声や語彙、表現、文法の知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる。 		<ul style="list-style-type: none"> 音読活動、またはペア活動を通して、本文の内容理解を深め、さらに実際のコミュニケーションにおいて、内容を的確に理解し、適切に表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 音読活動やペア活動において積極的かつ協力的に学びを深めようとしている。また、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
単元計画			
次	時	評価基準と評価方法	学習活動
A	1	<p>【評価基準】本文全体を読み、概要や要点を的確に理解している。(思考・判断・表現)</p> <p>【評価方法】行動の観察・WPM計測</p>	英語落語の導入活動に取り組み、レッスン全体の本文を読み、WPM計測を行う。
B	2 3 4 5 6 7 8 9	<p>【評価基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語の音声や語彙、表現、文法などを理解し、活用できる。(知識・技能) 教科書の内容について、内容を的確に理解し、要点を自分の言葉でまとめることができる。(思考・判断・表現) 小晰の内容を正しく聞き取り、面白さを味わう。さらに、理解した内容をクラスメイトに正確に伝えることができる。(思考・判断・表現) ペアでの音読練習や小晰の発表を通して、自分の発音や表現力を高めようとする。また、積極的かつ協力的に活動に参加している。(主体的に学習に取り組む態度) <p>【評価方法】行動の観察・ワークシート記述の確認</p>	<p>【予習】</p> <p>各パートの単語や表現を調べておき、内容理解問題を解き、答え合わせをしておく。また、音声データを使って、音読をしておく。</p> <p>【授業】</p> <p>各パートの重要表現や段落構成を理解しながら本文を読む。</p> <p>英語の音声の特徴を理解した上で、正しく発音できるように、また、意味を意識しながら音読活動を行う。</p> <p>本文の概要や、要点を質問し合い、内容理解を深める。</p> <p>小晰を鑑賞し、概要や要点を捉え、聞いた内容をリフレーズする。また、その内容をクラスメイトと口頭で確認する。</p>
C	10 11 12	<p>【評価基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小晰の発表を通して、英語の音声や語彙、表現、文法の知識を、聞くこと、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる。(知識・技能) 	<p>【予習】</p> <p>小晰を各自で練習し、発表できるようにしておく。</p> <p>【授業】</p> <p>小晰をグループで練習し、発表動画を撮影する。</p> <p>発表者は観客を笑わせる(内容を理解してもらう)ことに重きを置き、そ</p>

	<p>・小唄の概要・要点を的確に理解し、その内容を発表者に口頭で確認することができる。(思考・判断・表現)</p> <p>・小唄の発表に挑戦し、観客を笑わせるために、自主的・自律的に練習しようとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>【評価方法】行動の観察・ワークシート記述の確認</p>	<p>のために何が大切かを自分で考えて練習する。</p> <p>撮影した小唄を鑑賞し、発表者は概要・要点について英語で質問し、内容理解を促す。</p> <p>鑑賞者は概要・要点を的確に理解し、その内容を発表者に口頭で確認する。発表を相互評価する。</p> <p>活動の感想や、英語でチャレンジすることで広がる将来の可能性を、理由や根拠とともに英語で書くことで振り返る。</p>
--	--	--

本時の学習指導案

小単元 および 本時の位置	Lesson 7 Rakugo in English	本時の目標	<p>・友人の再現した小唄を聞いて、概要・要点を理解し、互いに評価し合う中で、さらなる英語力向上につなげようとする。</p> <p>・英語でチャレンジすることの素晴らしさと可能性を感じ、自分の生き方や将来の夢に加味することができる。</p>
---------------------	----------------------------	-------	--

生徒の実態 及び 指導観	<p>本校は1学年1クラスで構成されており、5年生(高校2年生)は、明るく前向きな生徒が多く、授業中の学習態度や教師からの呼びかけに対しての反応もよい。英語に苦手意識を持つ生徒もあり、それぞれの個性を生かした授業構成が求められることから、学びのペースやニーズに応じて、学年を2クラスに分けて授業を展開している。寮生活で24時間寝食を共にしている本校の利点を生かし、ペア活動に重きを置いている。今年度は彼らの「聞く力」を重点的に鍛え、アウトプットに繋がるよう、授業を組み立てている。本単元では、「落語というエンターテインメントを英語で楽しむ」ために彼らの聞く力の伸長にフォーカスを当てつつ、桂かい枝さんの海外での挑戦を踏まえ、英語で小唄に挑戦する中で、英語でのアウトプットや、コミュニケーションにも自信を持たせたい。さらに11/7(土)のEnglish Day(宮崎大学の留学生と交流し、GIAHSについて理解を深める校内行事)に向けて、英語学習へのモチベーションを高めることも狙いとしている。</p>
--------------------	--

観点別評価	A	知識・技能	積極的に知識や技能を活用する言語活動に取り組んでいるか。
	B	思考力・判断力・表現力	情報や考えなどを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあっているか。
	C	主体的な学習態度	主体的にコミュニケーションを図ろうとして、活動に積極的かつ協力的に参加しているか。

指導過程

指導過程	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価の観点・方法
導入 (5分)	1 Greeting 2 Goal Check	1 本時の目標、活動内容を確認する。 2 本時の目標を確認する。	英語で説明しながら、全体で授業の流れを確認する。	A 教師の指示を聞いて内容を理解しているか
鑑賞活動 (28分)	1 Introduction (3分) 2 Watching Rakugo (25分)	活動の流れを確認する 以下の通りにペアを組み、互いの演目を鑑賞し、評価する。 1st round A-B C-D (8分) 2nd round A-C B-D (8分) 3rd round A-D B-C (8分)	発音はもちろん、声量、目線、間の取り方、適切な道具の使用など、唄家の技術が評価のポイントになっていることを可視化して強調する。 評価だけではなく、内容の確認や、鑑賞した感想を英語で伝えることが大切であることを伝える。	A 教師の指示を聞いて内容を理解しているか。 B 導入で確認したポイントに基づいて評価できたか。 AB 概要・要点を理解し、自分の言葉で相手に伝えられたか。

				また、相手の質問を聞いて適切に回答できているか。
フィードバック (15分)	1 Sharing good performances (7分) 2 Self evaluation (8分)	①数名のパフォーマンスを全員で鑑賞し、何が優れているのかを共有する。 ②活動全体を振り返り、英作文で感想を書く。次回までの宿題とする。	①導入で確認したポイントと照らし合わせる。 ②かい枝さんの海外チャレンジと生徒の活動の共通点を可視化し、理解を促す。 ③ヒントを出すなど表現をサポートする。	C 良い部分を積極的に見つけ、共有しようとしているか。 B 活動を振り返り、キーワードを用いて適切に表現しようとしているか。 A 学習した単語や表現などを活用しているか。
まとめと次時の連絡 (2分)	Notification for the assignment	宿題の内容の確認をする。 次時の予告をする		